

打合せ記録

1枚の内1枚目

件名	県立芸術大学/基本計画策定支援業務	JOB No. N-070086A
日時	2007年8月22日(水) 9:30~10:30	場所 管理棟3階学長室
出席者	愛知県立芸術大学/磯見学長、安元音楽学部長、長谷美術学部長、 米倉事務局長 愛知県公立大学法人/清水理事長、山川理事 名古屋大学/谷口教授 愛知県建設部建築担当局公共建築課/松原課長補佐、松本主任主査 (事務局) 法人/神谷経理財務課長、伊藤主査他 大学/鹿島主任主査他 日建設計/	

■提出物：第4回 芸術大学整備計画検討委員会資料

■受領資料：なし

■打合せ内容

1. 議題

芸術大学整備基本計画について

ゾーニング検討パターン一覧、他大学セიმスケール事例、ゾーニングパターン比較検討(案)を説明し、ご意見を伺った。主な意見は以下の通り。

(清水委員長)

- 配置計画のみに終始し、コンセプトが見えない。入り方が間違っており、あくまでコンセプトを具現化するというスタンスで検討すべき。敷地を拡張するか、DOCOMOMOにどれほど対応するか、など、現段階ではフリーハンドとし、案を検討してほしい。

(磯見学長)

- 前回提案にあった“芸術の森”という色彩が感じられない。一ノ池を含んだ自然を意識した計画として欲しい。

(谷口教授)

- 敷地自体の地域的な位置づけを明確にしながら、段階を追って計画を論じて欲しい。

(長谷部長)

アカデミックプランはこれまで伝えた通りで、それを反映した内容として欲しい。音楽・美術の融合という将来的な観点から、各ゾーンで分かれた配置も再検討して欲しい。

- 美術学部の計画が1案しかないこと
- 美術学部の全専攻が網羅して表記されていないこと
- 美術学部の中心となるべき大工房棟の位置づけが不明確なこと
- 高層棟を建設することの是非について、十分に検討して欲しい。

(安元教授)

- 奏楽堂と付随するリサイタルホールは、外部からの人のアクセスを考慮して欲しい。

(事務局・神谷氏他)

- 中期ビジョンを包含し、さらに先を見据えた計画を考えてほしい。
- 9月の県への提案を考えると、現在の案では通すことが難しい。全面改修を前提とした高いレベルの夢のあるプランなど、NSで条件付けをしすぎないようにして、検討し直して欲しい。
- 9月15日が基本計画ベース案の最終まとめ。間に合うか憂慮している。

2. 今後のスケジュールについて

来週前半 8/30 資料事前送付

8/30	13:00~15:00	施設整備委員会	@管理棟3階大会議室
9/6	9:30~11:30	整備計画検討委員会	@管理棟3階学長室
9/12	9:30~11:30	整備計画検討委員会	@管理棟3階学長室
9/15		基本計画ベース案最終切	

以上

この記録の内容に関しまして、何かご意見・コメント等ございましたら、担当者までご連絡ください。

配布先	愛知県立芸術大学、愛知県公立法人:関係者各位 日建設計:関係者各位		
記録	確認	発行者	発行 2007.08.24
キーワード	基本計画/打合-8	文書番号 070822	保存ランク A